

加古川市などでつくる市地域公共交通活性化協議会は今後10年の方針などを定める「市地域公共交通プラン」の素案を明らかにした。JR加古川線の厄神―市場間で新駅設置を検討することなどを盛り込んでいる。新駅の実現には、利用が見込める人数の増加などが不可欠とみられるが、市は「長期的視野に立って検討していきたい」としている。(小林隆宏)

「加古川市公共交通プラン」素案を策定



JR新駅設置が検討される加古川市立漕艇センター周辺に市上荘町井ノ口

市によると、新駅を検討するのは市立漕艇センター(同市上荘町井ノ口)近く。同センターの最寄り駅は加古川を挟んで対岸にある厄神駅で、同センターから約1.5キロ西側の上荘橋を通らなければならず、歩いて30分程度かかる。付近には日光山墓園やみとろフルーツパークといった施設もあり、利便性向上や、にぎわい創出の効果があるという。

地元住民らでつくるまちづくり協議会は2013年、地域の理想像を描く田園まちづくり計画で、新駅構想を盛り込んでいた。これを基に、同プラン素案に事業の検討を明記したという。ただ、同プランは17年度の10年間を対象にするが、素案に記された26事業のうち、新駅検討についてのみ、実施時期を明示していない。市は「今のままでは実現は難しいだろうが、具現化に向け、地域の潜在能力を高める取り組み



厄神―市場間 「長期的視野で」

JR新駅の検討盛る

バス路線再編も

を進めたい」とする。また、同プラン素案には、老朽化している日岡駅のリニューアル検討や、加古川駅北広場の交通ターミナル機能の充実、JR東加古川駅と山陽電鉄別府駅間のアクセス強化なども示している。

バスに関しては路線再編のほか、「上荘くるりん号」や「かこバスミニ・しろやま号」のようなコミュニティ交通の活用地域を増やすことも盛り込んでいる。また、福祉タクシー制度を拡充し、高齢者や妊産婦にもタクシーチケットの交付を検討するとしている。

同プラン素案は市ホームページに掲載し、2月24日までパブリックコメント(意見公募)を実施している。市交通政策課 ☎079・427・9732



リニューアルを検討するというJR日岡駅―加古川市加古川町大野

JR加古川線の厄神ー市場間に新駅を設けようという記事です。厄神駅は加古川の左岸、市場駅は右岸です。厄神駅を過ぎるとすぐに■包(くにかね)鉄橋。その先に新駅を予定とのことです。

この付近の加古川は加古川大堰に塞き止められた豊富な水量を利用して、この■包鉄橋の下を通過するポートコースが設けられ、大学対抗のエイトなど、多くのボート競技が行われています。

■包鉄橋にはその横に人が通れる歩道がついていて、小学校の時には歩いて、あるいは自転車によく通ったものです。新駅の設置も魅力的ですが、今は通行が認められていないこの歩道を復活させると、新駅の予定地までは歩いて僅かに10分。歩道上からのボート競技の観戦や応援が可能となり、競技者や観戦者にとって多くのメリットをもたらすことと思います。

JRはサービスの一環として、鉄橋歩道の通行許可も選択肢に入れてはいかがでしょうか。全■的に利用が許可された鉄橋歩道が少なくなっていますので、ボート競技のみならず鉄道ファンも引き付けることになるでしょう。